

15 中野石神井コース 新宿中央公園—石神井公園 14.7km

山の手にひらけた文教の地と、閑静な庭園・寺院をたずねる

鎌

倉時代から室町時代にかけて、雑木林が広がっていた武蔵野を関東の武士団が開拓した。このころ、^{むさしのくに}武蔵国豊島郡一带を勢力範囲としていたのが^{としま}豊島氏。平塚（現北区）や石神井、練馬に居城を設けていたが、室町時代末期の^{ぶんめい}文明8年（1476）^{おおたどうかん}太田道灌との合戦に敗れ、没落した。石神井の^{しやくし い きんぼう じ}三宝寺池には豊島氏滅亡の伝説がのこる。

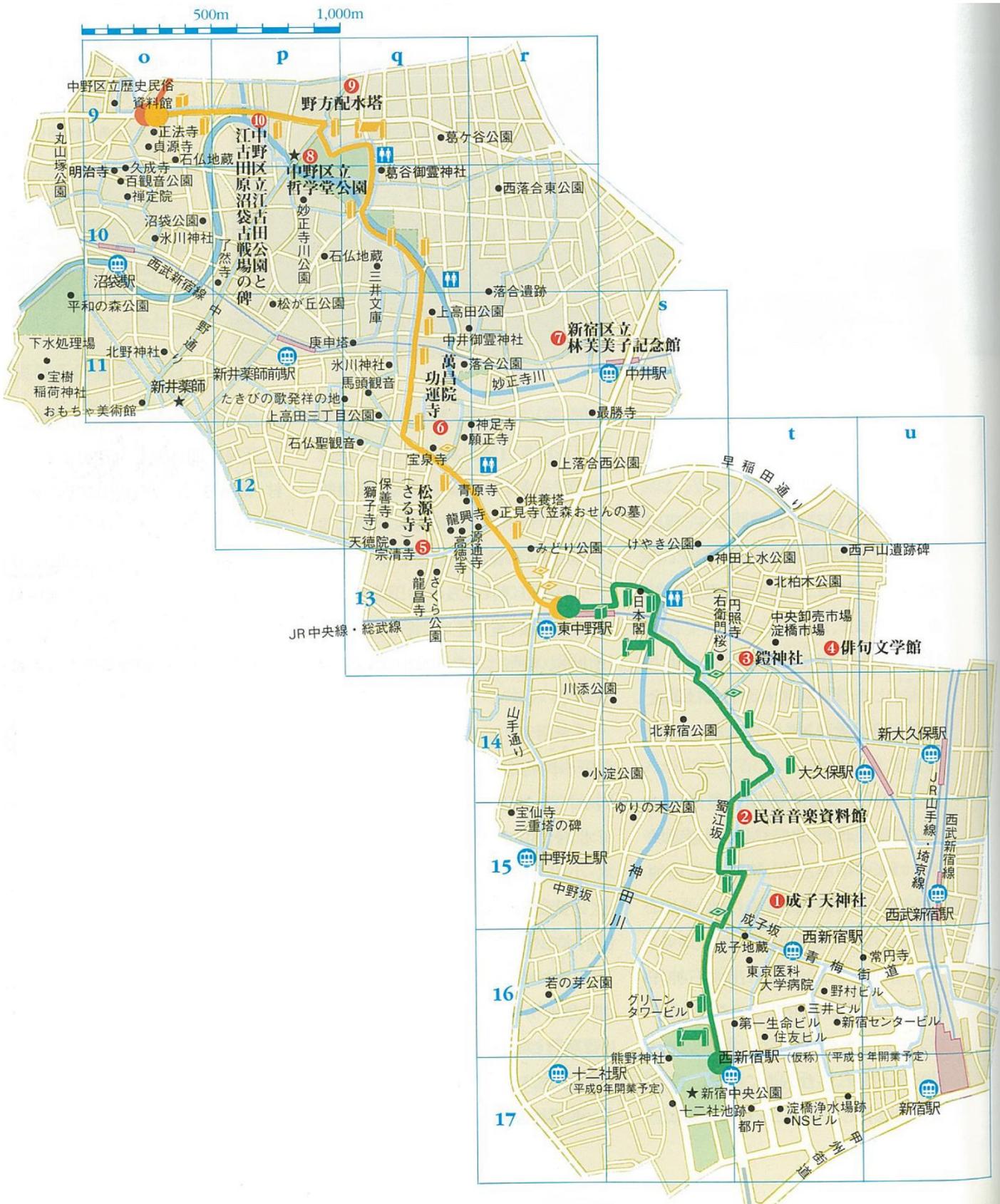
▶ 新宿中央公園から練馬区の石神井公園へ至るこのコースは、武蔵野の変遷にふれる散歩道である。新宿今昔散歩では中世の^{おうえい}応永年間（1394～1428）中野本郷を中心にいまの新宿区^{つのはず}角筈まで開発した^{すずきくろう}鈴木九郎の足跡を見ることができる。寺町哲学堂散歩では^{めいじ たいしやう}明治・大正時代の哲学堂公園、都市化がすすむ^{しやうわ}昭和初期に建てられた野方配水塔などをたずね、練馬ずしろの道散歩では練馬の農業を、東高野みち散歩では、中世豊島氏の盛衰をたどる。



※掲載内容は平成8年3月時点のものです。

15-a 新宿今昔散歩 新宿中央公園—東中野駅 3.0km

15-b 寺町哲学堂散歩 東中野駅—中野区立歴史民俗資料館 3.2km



※掲載内容は平成8年3月時点のものです。

15-c 練馬すずしろの道散歩 中野区立歴史民俗資料館—中村橋駅 4.3km



※掲載内容は平成8年3月時点のものです。

15-d 東高野みち散歩 中村橋駅—石神井公園 4.2km



※掲載内容は平成8年3月時点のものです。